

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団恵正会	事業所名	看護小規模多機能ホームやすらぎ
所在地	(〒 731- 0021) 広島市安佐北区可部5丁目9-3		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケアの必要度が高い要介護状態（要介護1～5）のご利用者の療養生活から看取りまでのサービスを提供します。 ・ がんや難病の末期に対応し、緩和ケアやターミナルケアを主治医と連携して実施します。 ・ がんや難病の末期で自宅での看取りが難しい場合は、同一建物内の賃貸住宅への入居もお取次ぎ可能です。 ・ 泊りは9室あり、空き状況により体調不良や介護者の急用等で必要な場合は急遽の泊りも対応可能です。 ・ 医療的ケアの実績（医療用麻薬を含む疼痛ケア、点滴、痰吸引、胃ろう、経鼻栄養、カテーテル管理、酸素吸入、褥瘡処置、ストマ等） ・ ご利用者の「自分らしさ、自分らしく」に寄り添う介護・看護職員によるサービスを専属ケアマネジャーが計画します。
--

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2026 年 1 月 24 日	従業者等自己評価 実施人数	(19) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026 年 2 月 10 日	出席人数（合計）	(6) 人	※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (___ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (___ 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1 人)			
	<input type="checkbox"/> 利用者 (___ 人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 (___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価 (令和5年度より、看護小規模多機能型居宅介護の様式へ変更)

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>①理念の唱和を継続することで、職員・専門職・地域の一員として役割や責務を意識した事業所風土の一体化を図る。 ②今年度の年間計画について職員全体で評価を行う。修正や目標達成に不足部分があれば考察し、さらに取り組みやすい計画を職員全体で作成、実施に繋げる。 ③情報共有ツールにより情報共有を行え、利用者に対しケアの統一化が図れるよう活用する。 情報ツールの活用のみならず、サービス記録や計画の充実化や定着化。 ④災害緊急時の対応が実践できるよう、年2回訓練を実施する。 ⑤リスク委員会を中心にインシデント・アクシデント予防に対する意識づけや、評価方法等仕組み作りをする。(送迎車両のインシデント・アクシデントについても同様)</p>	<p>①朝の申し送りの時間に理念の唱和の継続を行った。 ②今年度の年間計画についてはこれから評価をするところ。今年度も職員全体で作成した年間目標を確認しながら目標達成に取り組んだ。 ③昨年度から使用している情報共有ツールを活用し、記録の充実化や情報共有を行い、ケアの統一化が図れている。 ④災害時の職員安否確認の訓練を実施。あと1回は来月実施予定。 ⑤毎朝の申し送り時にインシデント・アクシデント報告の他今後の対応策についても何度も検討をしている。</p>	<p>①理念の唱和の継続を行うことで事業所風土の一体化が図られている。 ②年1回の評価ではなくもう少し定期的に見直す時期を持つことも必要と思われる。 ③タブレットを活用し、職員がいつでもどこでも確認できるのはいいことだと思われる。 ④来年度は地域の防災訓練があるのでぜひ参加してもらいたい。 ⑤いい取り組みだと思うので継続したらいいと思う。</p>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>・カンファレンスやケア内容について、サービス記録に残し全体で振り返りを行う。</p>	<p>・定期的または何かあったときにはカンファレンスを行っている。その記録を残し、情報共有を図っている。サービス記録だけではなく、1日のケア内容が分かるようにしているケアマップにも記入し</p>	<p>・何かあったときにカンファレンスを行っており、本人、家族の状況についても把握できるようになっている。 ・ケア内容についても共有が行えている。</p>

			ケア内容についても情報共有を行っている。	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	①事業所の改善計画が遂行できるよう、スタッフミーティングや運営推進会議、地域活動など管理者以外の職員も知る機会ができるよう引き続き年間計画に組み込む。 ②運営推進会議や地域活動参加、研修参加など職員の参加しやすい環境を整える。参加した職員が自ら伝達や振り返りができ、知識や技術の向上に繋げられる仕組みをつくる。	①運営推進会議には出席したことがない職員に順番に出席してもらっている。 ②興味を持ちやすい研修などがあれば職員に積極的に声をかけながら参加を促している。	①運営推進会議には職員も順番に出席はしてもらっているが、全員出席できていないこともあり分からないという声が職員から多かった。 ②出席できるようにシフト調整は行っているが、調整がうまくできない場合もあり参加が難しい場合もあった。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	・事業所単体では実践化できていないが、法人全体での活動に参加および、職員への周知ができるよう情報共有を行っている。	・法人全体で行っている健幸フェアへの参加をした。	・地域に向けての取り組みがまだ不十分。地域からはいろいろな施設があるが、窓口が分からない。何をどこに相談したらいいのか分からないという話があった。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		・利用者への満足度調査や利用終了後のグリーフケアから声を聴くことで、看多機やすらぎの質の向上につなげていく。地域活動への参加により繋がりを深める。	・満足度調査は行っていない。利用終了後に看多機のサービスがどうだったかは聞きながら、聞いた内容は職員で情報共有を行っている。	・満足度調査は行っていないが、グリーフケアから家族の声を聞くことで次に繋げることができる。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>事業所の掲げている理念については職員が理解し実践できるような状況にはなってきている。</p> <p>今年度は職員の入退社が多く、業務が圧迫されていると感じる職員も多かった。そのため、職員が安心して働く就業環境の評価が低かった。</p> <p>災害マニュアルの作成はしているものの、職員への周知が徹底できていない評価となった。</p>	<p>職員が安心して働く就業環境を改善するため、各業務が本当に必要なか一つずつ精査しながら業務のスリム化が必要。スリム化できることは行いながら、本人や家族へのケアに注力できる環境整備を行っていく。</p> <p>災害マニュアルの見直しとともに誰が見ても理解ができ対応ができるようにしていく。</p>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	何かあったときにはカンファレンスを行ったり、本人や家族が考えていることなどの情報共有を行ったりしながら専門的にサービス提供ができている。	今後もカンファレンスの継続。 カンファレンスの内容や本人や家族の意向などを記録に残し情報共有を図る。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	管理者のみならず運営推進会議へ参加について年間計画に組みこみ取り組んだ。しかしながら、地域の社会資源や情報収集については評価が低い結果となった。	職員が運営推進会議に参加することは継続しながら、どんな内容だったかをスタッフミーティングでも発信していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域との関わりについては前年度同様に行えた。地域に向けての情報発信がまだ乏しい。	地域に向けての情報発信を事業所単体では難しい部分があるため法人の取り組みの1つとして行っていけるようにしていく。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	グリーンケアで家族から聞いた内容を職員で情報共有し次につなげることができている。	デスクカンファレンスを定期的に行うことで、よりよいケアが次に繋げられるようにする。	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します